



秋 季 大 会 ～新人戦～

快挙、都団体3位 春そして総体へと繋げ

秋季大会（新人戦）が8月の終わってから江東区の大会が、10月～12月にかけて都の大会が行われています。その都大会で男子ソフトテニス部は団体の部、第3位に輝きました。秋季大会は都の大会までですが、これが夏の総体（総合体育大会）であれば、関東大会出場でした。層の厚い中学校のソフトテニスで、団体の勝つことは容易ではありません。選手たちの活躍を讃えたいと思います。ソフトテニスだけでなく、男子バスケットボール部も区大会を準優勝し、都大会へとコマを進めました。卓球部も個人ではありますが、区大会を勝ち抜き6名が都大会に出場を果たしています。またバレーボール部について、予選リーグを勝ち上がるまでになりました。その年その年のメンバーにもよりますが、確実に体力が向上している一つの結果だと考えます。ただ、今度は追われる身、目標とされます。プレーも研究され、弱点を見つけて、何とか勝てるようにと練習を積み上げてきます。この結果が、本物であったと認めさせるには、そういったチームの倍もフィジカルもメンタルも鍛えていくことが必要になります。是非、春にそして総体へとつながるよう今まで以上の精進を期待します。



ところで、今も昔も様々なメディアを通じて王さんや長島さん、本田圭佑選手や高梨沙羅選手などスポーツ選手のことが取りあげられます。そんなニュースやドキュメンタリーを見るにつけ考えさせられることは、「一流の技能を身につけたアスリート、プレーヤーには、一流の人格も求められる。」ということです。「さすが〇〇選手。」と心を震わせるほどの感動的な話がある一方、「プレーは一流だったけど残念だよー。」という話題もあります。中学校の都の大会へ行っても、「負けちゃったけど気持ちのいいチームだよー。」とか、「上手くて強いけど、相手をなめてるし、マナーがなってないから伸びないよね。」など、プレーよりも違う評価をされることが多いのです。やはり、スポーツ選手に限らず、人として全人的な成長をしていくことがどんな道でも、本当の意味で一流になることであり、人生を豊かに華やかにするものです。ただ、逆もまた真なりです。

そういった意味で、中学校の部活動、運動系も文化系も技能の向上は大切ですが、それとともに人としての社会性やアイデンティティー、思いやり、自己肯定感、強い意志などを育成していくことも大切ではないでしょうか。私事ですが、バスケットボール部を指導していたときは、「準備、礼儀、挨拶、後片付け」を部のモットーにしていました。

最後に男子ソフトテニス部の顧問、伊勢先生が「この都大会は、2年の部員全員で勝ち上がったも同然です。」という言葉に、敬意を払い、栄光を讃えてに2年生の男子ソフトテニス部の名前を掲載したいと思います。

最後に男子ソフトテニス部の顧問、伊勢先生が「この都大会は、2年の部員全員で勝ち上がったも同然です。」という言葉に、敬意を払い、栄光を讃えてに2年生の男子ソフトテニス部の名前を掲載したいと思います。

栄光を讃えて



男子ソフトテニス部

東京都秋季大会

団体の部 第3位

浅野広樹 高山陽路 細山典嵩 印南幸紀 伊藤シュン
杉山慎平 坂本一馬 梅津一斗 松田勇士 八木沢冴亮
小松里颯 山岸大心 飯野智義 松原進太郎

卓球部

江東区秋季大会 男子シングルス 優勝 1年 須田玲央
第五位 2年 村上伊織

税の作文コンクール

会長賞 3年 奥田美央
優秀賞 3年 板橋海々香
佳作 3年 成田藍美

税の標語コンクール

佳作 「税金は 平和な日常 守るため」 1年 岡本真里奈
佳作 「子供でも 知っておこうよ 税のこと」 1年 小松 玄

深川資料館通り主催 案山子コンクール

銅賞 2年 杉山慎平 2年 山口こころ

薬物乱用防止ポスターコンクール

優秀賞 2年 田中南星

選挙啓発ポスターコンクール

努力賞 2年 梅山果子

江東区立中学校連合文化祭生徒理科研究発表会

優秀賞 2年 齋藤光里 2年 佐藤成々美 2年 橋本琴羽 2年 鈴木莉帆

※敬称は略させていただきました。

ものはちんぽん

栗生忠義

まもなく二十四節気（にじゅうしせつき）の冬至（とうじ）を迎えます。今年の冬至は十二月二十二日だそうです。昼の長さが一番短くなる日です。「何だか暗くて寒くてやだな」と思いがちです。けれども昔の人はこう考えました。「陽が一番短くなるということは、これからどんどん長くなるという吉兆（きつちよう）、よい兆しではないか。」ということで冬至のことを中国では「一陽来復（いちようらいふく）」と呼び、「これから良いことがどんどんやって来る。」と喜び、お祝いをしたりしたそうです。

随分前になりますが、担任として修学旅行の引率をしたときのこと、あるクラスの女子生徒が、貴船神社で人目も憚（はばか）らず泣いていてるのを見つけました。何でも、水神籤（みずみくじ）が「大凶」だったそうです。そのときにこう言って慰めました。「へえー大凶か、実はお神籤は大凶が極端に少ないんだよ。それを引いたのだから、なんて運がいいんだ。宝くじでも買っといいよ。」そのときはきょとんとしていましたが、その後、何事もなかったように、班行動を続けました。

貴船神社は縁結びの神様で、彼女は「彼氏ができますように」と願かけをしていたと、その子の友達にあとで教えてもらいましたが…（笑）
まあ、ものごとは考えようで…。